



Cisco ASR 9000 ネットワーク仮想化 (nV) サテライトおよびクラスタ サービスのモニタリング

- [Cisco ASR 9000 nV サテライトのモニタリング \(1 ページ\)](#)

Cisco ASR 9000 nV サテライトのモニタリング

- [Cisco ASR 9000 nV サテライトのデバイスと OS の最小要件 \(3 ページ\)](#)
- [トポロジマップでの Cisco ASR 9000 ホスト/サテライト トポロジの表示 \(5 ページ\)](#)
- [Cisco ASR 9000 ホストに接続されているサテライトの特定 \(6 ページ\)](#)
- [サテライトに接続されているホストの特定 \(7 ページ\)](#)
- [Cisco ASR 9000 nV サテライトの障害のモニタリング \(8 ページ\)](#)

Cisco ASR 9000 nV サテライト機能セットを使用すると、1つ以上の小規模なサテライトスイッチを Cisco ASR 9000 デバイスと相互接続し、単一の結合アクセス、アグリゲーション、エッジシステムを形成できます。

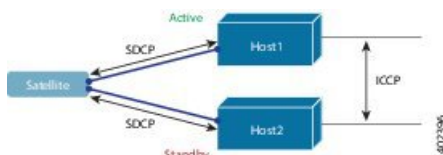
Cisco Evolved Programmable Network Manager Cisco ASR 9000v、Cisco ASR 901、Cisco ASR 901S、Cisco ASR 903、および Cisco NCS 5001/2 デバイスをサテライトとしてサポートします。Cisco ASR 9000v は、Cisco ASR 9000 デバイスと共に nV サテライト モードでのみ使用できる専用サテライトスイッチです。Cisco ASR 901 および Cisco ASR 903 スイッチは「デュアルモード」スイッチです。つまり、両方ともスタンドアロンスイッチとして、または Cisco ASR 9000 デバイスを搭載した nV システム内のサテライトスイッチとして動作できます (その場合は、プライマリ Cisco ASR 9000 で完全に管理、制御できます)。

サテライト機能を使用すると、サテライトスイッチとプライマリ Cisco ASR 9000 間での冗長相互接続および非冗長相互接続の両方が可能になります。サテライトスイッチのアクセス側イーサネットポートは、ローカルに接続されたイーサネットポートと同様に、ホストプライマリ Cisco ASR 9000 のコントロールパネル内と管理パネル内に表示されます。ホスト Cisco ASR

9000 で設定できる機能はすべて、サテライトがあるポートでも同じように設定および実行できます。サテライトスイッチは事実上、ホスト Cisco ASR 9000 の仮想ラインカードです。サテライト上のハードウェアセンサのソフトウェアアップグレード、インベントリ、および環境モニタリング（電圧、温度など）のようなサテライトのシャーシ管理機能も、ホスト Cisco ASR 9000 シャーシの他のラインカードと同様に、ホスト Cisco ASR 9000 の同じ機能にシームレスに統合されます。

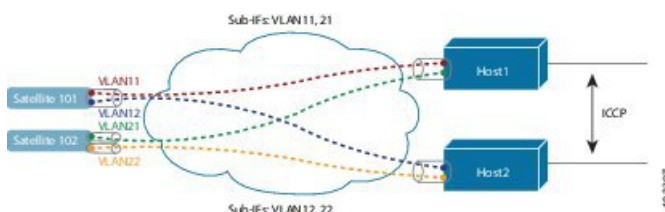
Cisco Evolved Programmable Network Manager は、次のタイプの nV サテライト設定をサポートしています。

- デュアル ホーム ハブとスポーク（インベントリ サポートのみ）



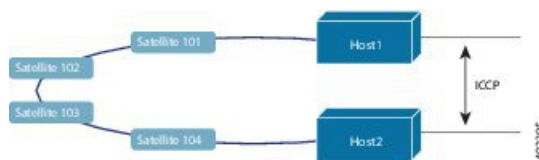
- 同じサテライトは、アクティブとスタンバイの2つの個別の Cisco ASR 9000 ホストのデュアル ホームとなります。
- 各ホストには、サテライトを持つ独立した制御チャネルがあります。
- サテライトには、どちらのホストがアクティブで、どちらがスタンバイかが通知されます。
- サテライトがアクティブなホストまたはリンクを失うと、スタンバイホストへのフェールオーバーが発生します。

- L2 ファブリック ハブとスポーク



- L2 ファブリックは、イーサネットレイヤ 2 ドメイン間のサテライト接続をサポートします。
- サテライトファブリックリンクの冗長性：2つの VLAN/EVC を持つ単一の物理リンク、またはそれぞれ1つの VLAN/EVC を持つ2つの物理リンク。
- 各ホスト L2 サブインターフェイスは、1つのサテライトファブリックポートにマップされます。

- シンプル リング



- リング内の各サテライトは、2つのホストを個別にSDCPで実行します。
- 各サテライトは、物理リングトポロジ上の論理的なハブアンドスポークトポロジを維持します。
- サテライト間での直接ローカルスイッチングは必要ありません。すべてパケットがホストを通過します。

Cisco Evolved Programmable Network Manager でのサテライトの考慮事項

Cisco Evolved Programmable Network Manager は [ネットワーク検出 (Network Discovery)] ページからのサテライトデバイス管理操作をサポートしていないため、サテライトは [ネットワーク検出 (Network Discovery)] ページ ([インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワークデバイス (Network Devices)]) には表示されません。

通常、サテライトはネットワークノードとしてロケーションに従って管理されるため、ロケーショングループにのみ属することができます。さらに、ホストデバイスをグループに追加すると、そのグループが次のガイドラインを満たさない限り、そのサテライトは自動的にグループに追加されません。

- [デバイスを手動で追加する (Add Devices Manually)] を使用する場合：グループの作成 (または編集) ページから、[追加 (Add)] をクリックし、[フィルタ基準 (Filter by)] ドロップダウンリストから [すべてのロケーション (All Locations)] を選択します。基準に一致する場合、サテライトがリストされます。
- [デバイスを動的に追加する (Add Devices Dynamically)] を使用する場合：ロケーショングループを作成していることを確認してください。グループの作成 (または編集) ページで、ページ上部の [親グループ (Parent Group)] から [すべてのロケーション (All Locations)] を選択します。

Cisco ASR 9000 nV サテライトのデバイスと OS の最小要件

nV サテライト機能セットのデバイスおよびデバイスオペレーティングシステムの最小要件を次に示します。

- ハードウェア：シャーシ間リンクの場所としての Cisco ASR 9000 Enhanced Ethernet ラインカードを搭載した Cisco ASR 9000 シリーズアグリゲーションサービスルータと、サテライトデバイスとしての Cisco ASR9000v、Cisco ASR 901、Cisco ASR 903、Cisco NCS 5001、または Cisco NCS 5002 ルータ。



(注) サテライトが ASR 9000 デバイスでない場合、その詳細はホストデバイスのシャードビューでは確認できません。

- ソフトウェア：Cisco IOS XR 5.2.0

追加サポートが利用できる場合があります。詳細については、Cisco Evolved Programmable Network Managerを参照してください。

特定のサテライトに関するクイック情報の表示：サテライト360ビュー

[サテライト360 (Satellite 360)]ビューは、サテライト デバイス、そのインベントリ、およびステータスに関するクイック情報を表示するポップアップウィンドウです。これには、デバイスアラーム、モジュール、インターフェイス、およびホストが含まれます。

サテライト 360 ビューを起動するには、次の手順を実行します。

- ほぼすべてのデバイス テーブルにあるデバイス名の横の [i] アイコンをクリックします。
- ネットワーク トポロジで、展開されたグループ内のデバイスをクリックし、[表示 (View)] をクリックします。

[サテライト360 (Satellite 360)]ビューで、ビューの上部にサテライト デバイスに関する一般情報が示され、ビューの下部にあるタブにはより詳細なインターフェイス情報が示されます。

[サテライト360 (Satellite 360)] ビューに表示される 情報	説明
一般情報	サテライトデバイスのタイプと名前、ステータス、最後の設定変更、および最後のインベントリ 収集、
モジュール	名前、タイプ、状態、ポート、および場所を含む、サテライトデバイス上で設定されたモジュール。
インターフェイス	関連付けられているサテライトデバイスそれぞれの名前、動作および管理者ステータス。また、[インターフェイス 360 (Interface 360)]ビューの起動ポイントも示されます。
ホスト (Hosts)	サテライトに接続されているホストデバイスの名前、IPアドレス、およびロール (アクティブまたはスタンバイ)。

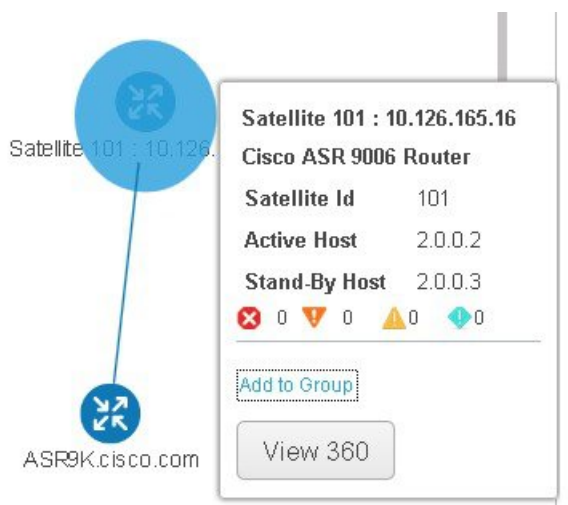
トポロジマップでの Cisco ASR 9000 ホスト/サテライト トポロジの表示

Cisco ASR 9000 ホスト/サテライト トポロジを視覚化し、ホストまたはサテライトにアクティブなアラームがあるかどうかを一目で確認できます。トポロジマップからドリルダウンすると、ホスト デバイスとサテライト デバイスに関する詳細な情報を得ることができます。

Cisco ASR 9000 ホストのサテライト ID と IP アドレスを含むラベルで、マップ内のサテライトを簡単に識別できます。



- (注) サテライト トポロジ内のデバイス間のリンクを表示するには、リンク タイプ フィルタ (マップの右上隅) でシャーン間制御リンクと ICCP リンクを有効にする必要があります。ICCP プロトコルは、リンクをホストするためにホストに使用されます。



Cisco ASR 9000 ホスト/サテライトのトポロジをマップで表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のナビゲーション ペインで **Maps > Topology Maps > Network Topology** を選択します。
- ステップ 2 左側の [グループ (Groups)] ウィンドウから、Cisco ASR 9000 ホストとサテライトを含むグループを選択します。トポロジマップには選択したグループのすべてのデバイスが表示されます。
- ステップ 3 マップ内でホストまたはサテライトの 1 つを見つけます。
- ステップ 4 ホストとサテライト間のリンクを表示するには、次のサイトを使用します。
 - トポロジ ツールバーの [フィルタ (Filter)] アイコンをクリックし、**Link Types** を選択します。
 - コントロールプレーン、シャーン間制御、および ICCP チェックボックスをオンにしてから、**OK** をクリックします。
- ステップ 5 サテライトをクリックしてポップアップを起動し、サテライト ID とともにアクティブ ホストとスタンバイ ホストの ID も表示します。

ステップ6 Cisco ASR 9000 ホストに接続されているサテライトの特定 (6 ページ) の説明に従って、ポップアップの [ビュー 360 (View 360)] をクリックして [サテライト 360 (Satellite 360)] ビューのサテライトとそのホストに関する詳細情報を表示します。

Cisco ASR 9000 ホストに接続されているサテライトの特定

選択した Cisco ASR 9000 ホストのデバイス 360 ビューには、デバイス自体とホストに接続されているサテライトに関する情報が含まれています。

Cisco ASR 9000 ホストに接続されているサテライトを特定するには、次の手順を実行します。

- ステップ1 左側のナビゲーションペインで [インベントリ (Inventory)] > [デバイス管理 (Device Management)] > [ネットワークデバイス (Network Devices)] を選択します。
- ステップ2 左側の [デバイス グループ (Device Group)] ペインから、Cisco ASR 9000 ホストを含むグループを選択します。
- ステップ3 右側のデバイス リストでホストを見つけます。
- ステップ4 デバイス IP アドレス/DNS の横にある [i] アイコンをクリックして、ホストのデバイス 360 ビューを開きます。
- (注) また、デバイスをクリックし、表示されたポップアップで **View 360** をクリックすると、マップからデバイス 360 ビューにアクセスすることもできます。
- [サテライト (Satellites)] タブには、ホストに関連付けられているサテライトのリストが表示され、タイプ、説明、IP アドレス、MAC アドレスなど、各サテライトに関する基本的な情報が表示されます。また、サテライトが現在ホストに接続されているか、ホストから切断されているかも示されます。[サテライト (Satellites)] タブは、Cisco ASR 9000 ホストとサテライトのデバイスのデバイス 360 ビューにのみ表示されます。
- ステップ5 [サテライト (Satellites)] タブの IP アドレスの横にある [i] アイコンをクリックして、サテライトのデバイス 360 ビューを開きます。[ホスト (Hosts)] タブには、そのサテライトに関連付けられているアクティブなホストとスタンバイ ホストのリストが表示されます。

Device 360° Last Updated: 11-Jan-2023 02:48:17 PM IST

Auto-Refresh Off | View Actions

ASR901-CSG-1-DOMAIN1.cisco.com ✓ ↔
 10.56.23.16 | Cisco ASR901-6CZ-FT-A Router

B04 nm-ts-mnm40:2026
 up for 121 days 21 hrs 52 mins 53 secs

OS Type IOS
 OS Version 15.6(2)SP6
 Active Proxy IP Address No data available
 Creation Time 10-Jan-2023 01:38:32 AM IST
 Last Inventory Change 11-Jan-2023 01:31:03 AM IST

CPU Utilization (%) Memory Utilization (%)

6h 6h

Alarms Modules Interfaces Neighbors Circuit/

Severity	Condition	Timestamp	Affected Objects	Alarm ID
⚠	BGP-5... i	10-Jan-202...	BGP Neighbor ...	4430431
⚠	BGP-5... i	10-Jan-202...	BGP Neighbor ...	4430436
⚠	BGP-5... i	10-Jan-202...	BGP Neighbor ...	4430429

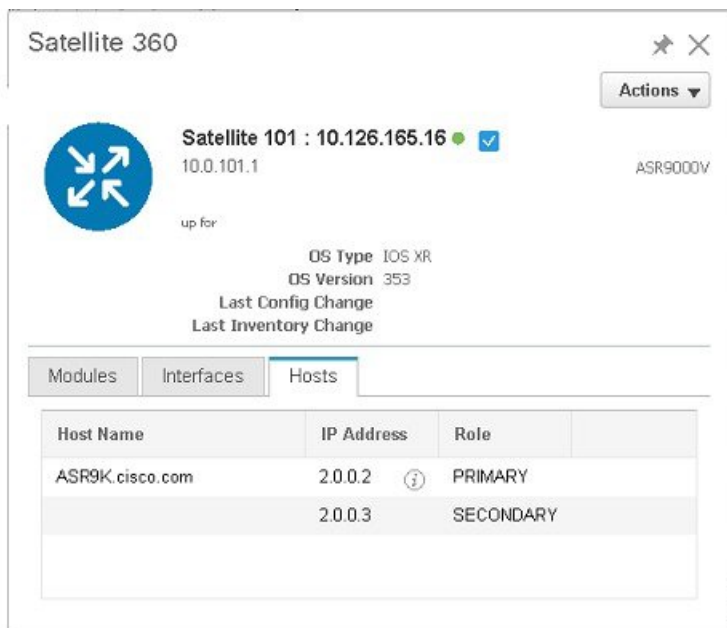
サテライトに接続されているホストの特定

通常、マップ内のリンクは、ホストと接続されているサテライトを含めてサテライトトポロジを明確に表示します。何らかの理由で、サテライトがリンクなしに表示される場合、サテライトが関連付けられているホストは簡単に特定できます。

サテライトに接続されているホストを特定するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のナビゲーションペインで **Maps > Topology Maps Network Topology** を選択します。
- ステップ 2 左側の [デバイス グループ (Device Groups)] ペインから、Cisco ASR 9000 ホストとサテライトを含むグループを選択します。マップには選択したグループのすべてのデバイスが表示されます。
- ステップ 3 **Satellite ID** で始まるラベルで識別されているサテライトデバイスをクリックします。
- ステップ 4 表示されたポップアップで、**View 360** をクリックし、サテライト 360 ビューをクリックして起動します。

サテライト 360 ビューの [ホスト (Hosts)] タブには、サテライトが接続されているホストデバイスとそれらのローフ (アクティブカスタンバイか) のリストが表示されます。



Cisco ASR 9000 nV サテライトの障害のモニタリング

サテライトで障害が発生すると、障害のタイプに応じて、Cisco Evolved Programmable Network Manager はホストデバイスまたはサテライトデバイスのいずれかに障害を関連付けます（ローカライズ）。

- ポート、ファン、モジュールなどの物理エンティティで障害が発生した場合は、Cisco Evolved Programmable Network Manager はサテライトデバイスを障害の場所として識別します。
- サブインターフェイスなどの論理構成体で障害が発生した場合は、サブインターフェイスがホスト上に設定されているため、Cisco Evolved Programmable Network Manager はホストデバイスを障害の場所として識別します。

デュアルホームのサテライトでアラームが発生すると、そのアラームはアクティブホスト上の1つのアラームとスタンバイホスト上の別のアラームで複製されます。

トポロジマップでのサテライト障害の表示

トポロジマップには、アラームソース（サテライトデバイス、ホストデバイス、またはサテライトデバイスとホストデバイス間のリンク）にアラームバッジがオーバーレイされて表示されます。

The screenshot displays the Cisco Network Topology monitoring interface. On the left, the 'Alarm Summary (90)' section features a donut chart and a table of alarm severities. On the right, a 'Device 360' view for 'Satellite 103' is shown, including a detailed information popup.

Alarm Summary (90)

Severity	Count
Critical	1
Major	80
Minor	8
Warning	1
Informational	0

Device 360 View: Satellite 103

- Device: Cisco ASR 9006 Router
- Satellite Id: 103
- Active Host: 2.0.0.2
- Stand-By Host: 2.0.0.3
- Alarms: 1 Critical, 1 Major, 0 Minor, 1 Warning, 0 Informational

Buttons: Add to Group, View 360

同じエンティティに複数のアラームがある場合、アラームバッジの重大度は最も重大なアラームの重大度を表します。

アラームが発生したエンティティを右クリックすると、エンティティに関連するすべてのアクティブアラームのカウントを示すポップアップが表示されます。リンクダウンなどのリンク関連のアラームは、トポロジマップの関連リンク上にアラームバッジを生成させます。

デバイス 360 ビューを使用したサテライト障害の表示

デバイスアラームの影響を受けるオブジェクトを確認するには、ポップアップメニューから [ビュー 360 (View 360)] をクリックし、[影響を受けるオブジェクト (Affected Objects)] 列を確認します。特定のアラームの詳細を表示する場合は、[alarmID] ハイパーリンクをクリックします。

The screenshot displays the configuration page for Device 360. The device is identified as ASR9001-165.7 with IP address 10.126.165.7. It is a Cisco ASR 9001 Router that has been up for 21 days, 1 hour, 40 minutes, and 51 seconds. The OS Type and OS Version are listed, along with the Last Config Change (May 11, 2015 1:49:53 AM EDT) and Last Inventory Change (May 12, 2015 4:28:31 AM EDT).

Below the device details are two bar charts: CPU Utilization (%) and Memory Utilization (%), both showing 6h of data. The CPU utilization is very low, while memory utilization is around 50%.

The Alarms and Events table is shown below the charts. It has columns for Severity, Condition, Timestamp, Affected Object, and Alarm ID.

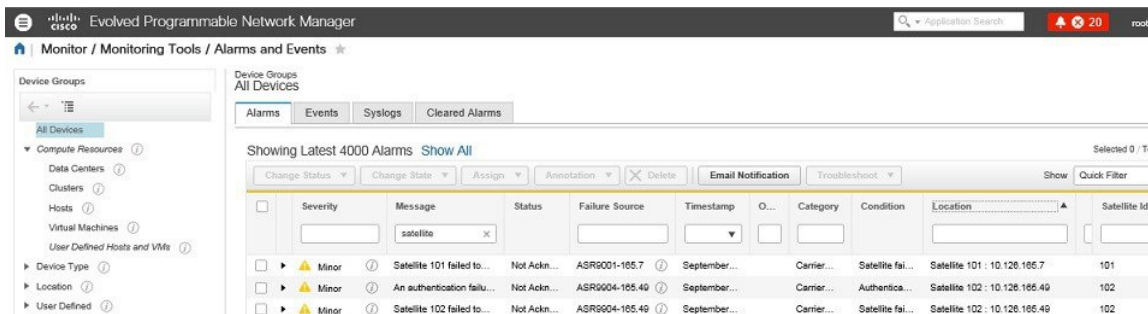
Severity	Condit..	Timpstamp	Affected Obj...	alarmID
Warning	Authent...	May 12, 2015 4:...	Not Available	1029091
Warning	No Lon...	May 12, 2015 4:...	GigabitEthe... (i)	1029124
Error	Link down	May 11, 2015 9:...	TenGigE0/0... (i)	1029093
Warning	Satellit	May 11, 2015 9:...	Satellite 700...	1029092

403244

[アラームおよびイベント (Alarms and Events)] テーブルでのサテライト障害の表示

[アラーム (Alarm)] テーブルからサテライトアラーム情報を取得するには、[モニター (Monitor)] > [モニタリングツール (Monitoring Tools)] > [アラームおよびイベント (Alarms and Events)] を選択し、[アラーム (Alarms)] タブをクリックします。

Cisco Evolved Programmable Network Manager は、障害ソースとしてホストデバイスを一覧表示します。[サテライト ID (Satellite ID)] フィールドと [場所 (Location)] フィールドで、サテライトソースを識別します。



Cisco ASR 9000 nV エッジクラスタのモニタリング

- [nV エッジのデバイスと OS の最小要件 \(11 ページ\)](#)
- [トポロジマップでの nV エッジクラスタの表示 \(12 ページ\)](#)
- [クラスタでのプライマリ デバイスとバックアップ デバイスの識別 \(12 ページ\)](#)
- [Cisco ASR 9000 nV エッジクラスタ サービスのモニタリングとトラブルシューティング \(13 ページ\)](#)

nV エッジの機能は、2 台以上の Cisco ASR 9000 シリーズ ルータのシャーシが結合され、単一の論理スイッチングまたはルーティングエンティティを形成します。これにより、2 台の Cisco ASR 9000 シリーズ ルータ プラットフォームを単一の仮想 Cisco ASR 9000 シリーズ システムとして運用することができます。実質的に、2 台の物理シャーシが共有コントロールプレーンで論理的にリンクされるので、2 台のルートスイッチプロセッサ (RSP) が単一のシャーシに収容されているのと同じこととなります。

nV エッジ トポロジには、次の 2 つのタイプのリンクがあります。

- 制御トラフィックに使用される制御リンク。
- シャーシ間のデータ生成と転送に使用されるラック間リンク。

nV エッジのデバイスと OS の最小要件

nV エッジのデバイスとデバイス オペレーティング システムの最小要件を次に示します。

- Cisco IOS XR 5.2.0 を実行している 2 台の Cisco ASR 9000 デバイス
- 4 10G SFP (IRL の場合)
- 4 1G SFP (クラスタ/制御リンクの場合)
- シャーシごとに 2 つの RSP ノード (クラスタ設定をサポートする単一 RSP システムである Cisco ASR 9001 を除く)

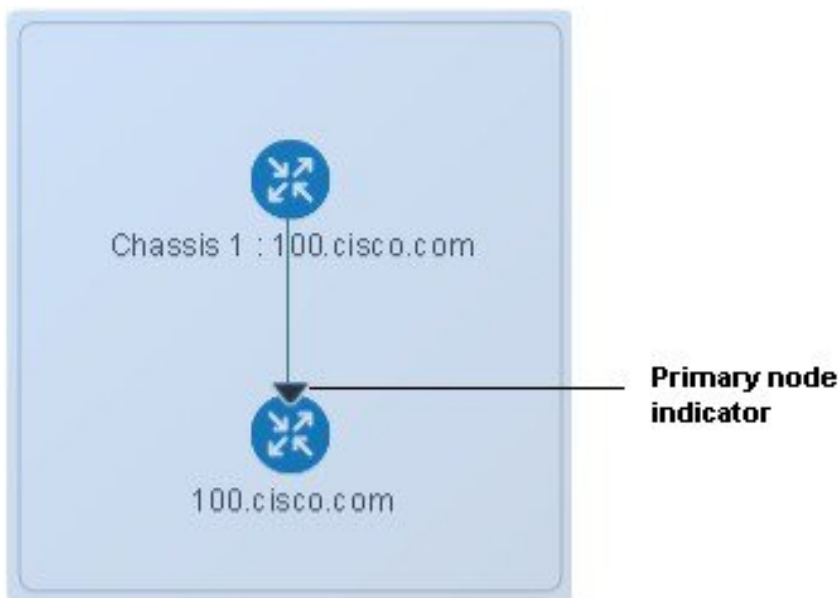
追加サポートが利用できる場合があります。Cisco Evolved Programmable Network Manager を参照してください。

トポロジマップでの nV エッジクラスタの表示

nV エッジクラスタは、トポロジマップ内で、2つのリンクされたシャーシ（1つのプライマリと1つのバックアップ）で構成される単一のオブジェクトとして示されます。

Cisco ASR 9000 nV エッジ トポロジをマップに表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1 左側のナビゲーション ペインで **Maps > Topology Maps > Network Topology** を選択します。
- ステップ 2 左側の [グループ (Groups)] ペインから、Cisco ASR 9000 クラスタを含むグループを選択します。トポロジマップには選択したグループのすべてのデバイスが表示されます。
- ステップ 3 プライマリ シャーシまたはバックアップ シャーシをクリックします。両方のシャーシが選択され、2つのシャーシを一緒に表示するポップアップが開きます。各シャーシに個別にアクセスすることはできません。
- ステップ 4 クラスタ トポロジにリンクを表示するには、次の手順を実行します。
 - トポロジ ツールバーのフィルタ アイコンをクリックし、**Link Types** を選択します。
 - コントロールプレーンとシャーシ間制御チェックボックスをオンにしてから、**OK** をクリックします。



クラスタでのプライマリ デバイスとバックアップ デバイスの識別

トポロジマップには、プライマリのシャーシとバックアップのシャーシが明確に表示されます。シャーシに関する詳細は、デバイス 360 ビューに表示されます。

プライマリ デバイスとバックアップ デバイスを識別し、詳細情報を表示するには、次の手順を実行します。

- ステップ 1** 左側のナビゲーション ペインで **Maps > Network Topology** を選択します。
- ステップ 2** 左側の [デバイス グループ (Device Groups)] ペインから、Cisco ASR 9000 クラスタのセットアップを含むグループを選択します。マップには選択したグループのすべてのデバイスが表示されます。
- ステップ 3** クラスタの表示をクリックします。
- ステップ 4** 表示されたポップアップで、[View 360] をクリックします。

[デバイス 360 (Device 360)] ビューの [シャーシ (Chassis)] タブには、クラスタ内のシャーシのリストが表示され、識別されて、それらのステータスとロール (プライマリかバックアップか) の情報も表示されます。

Cisco ASR 9000 nV エッジクラスタ サービスのモニタリングとトラブルシューティング

Cisco Evolved Programmable Network Manager は、クラスタにアラーム インジケータを表示し、Device 360 ビューのプライマリ シャーシの CPU とメモリ使用率を示すグラフが表示されます。

The screenshot displays the 'Device 360' view for a Cisco ASR 9006 Router. The main panel shows the device's status, including its IP address (100.cisco.com), up time (20 days 2 hrs 15 mins 50 secs), OS Type, OS Version, Last Config Change (February 2, 2015 10:21:03 AM IST), and Last Inventory Change (February 9, 2015 11:58:36 AM IST). Below this, there are two bar charts: 'Primary Chassis CPU Utilization (%)' and 'Primary Chassis Memory Utilization (%)', both showing utilization over a 6-hour period. At the bottom, there are tabs for 'Alarms', 'Chassis', 'Modules', 'Interfaces', and 'Neighbors'. The 'Alarms' tab is selected, showing a table of active alarms.

Severity	Status	Timestamp	Message	Category
Warning	Not Active	February 9, 2015...	Interface 2 (Pe...	Carrier E...
Warning	Not Active	February 9, 2015...	Interface TenG...	Carrier E...
Warning	Not Active	February 9, 2015...	Interface 15 (C...	Carrier E...

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。